

合同出版記念対談

具体研究の未来

尾崎信一郎『戦後日本の抽象美術—具体・前衛書・アンフォルメル』(思文閣出版、2022年10月)、
加藤瑞穂『田中敦子と具体美術協会—金山明および吉原治良との関係から読み解く』(大阪大学出版会、2023年1月)の出版を記念して、共に中心的なテーマとなった具体美術協会(具体)の研究について、今後の課題を考える機会にします。各著者が出版の意図や目的を話した上で、これまでの具体研究の経緯を振り返り、まだ光が当てられていない部分や掘り下げられていない部分を探ります。またこの日に限り、田中敦子の具体退会後を捉えた映像を特別上映します。

2023年10月28日[土]

14:00 (13:30 開場) \ 16:10

[主催] 大阪大学総合学術博物館 [協力] 大阪大学出版会、思文閣出版

[定員] 70名 聴講無料、事前申込み不要、
当日先着順、13:00より整理券を配布

この催しは、令和2-5年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)課題番号20K00171「具体美術協会の1960-70年代における個と集団の関係—田中敦子の事例を中心に—」による研究成果に基づいています。

会場 大阪大学中之島センター 7階セミナー室A・B

〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53
tel. 06-6444-2100 <https://www.onc.osaka-u.ac.jp/>

- ◎京阪中之島線・中之島駅(6番出口)より徒歩約5分
- ◎京阪中之島線・渡辺橋駅(1番出口)より徒歩約5分
- ◎阪神電車・福島駅より徒歩約9分
- ◎JR東西線・新福島駅より徒歩約9分
- ◎JR大阪環状線・福島駅より徒歩約12分
- ◎地下鉄四つ橋線・肥後橋駅(4番出口)より徒歩約10分



14:00～14:05 趣旨説明

14:05～14:30 尾崎信一郎 「具体美術協会を再導入する」

14:30～14:55 加藤瑞穂 「田中敦子と具体美術協会」

15:05～15:55 対談 「具体研究の未来」
司会：塚村真美（編集者）

15:55～16:10 質疑応答

終了後に、田中敦子に関する映像を上映します。

※整理券をお持ちの方限定、この時間帯に限り入退自由

「Tanaka's Round Circle」

構想・演出：金山明、撮影：鍋倉武弘、1966年、8mmカラーをデジタル変換、7分、
大阪大学総合学術博物館蔵



尾崎信一郎 Osaki Shinichiro

大阪大学大学院文学研究科（芸術学専攻）博士課程単位取得退学。兵庫県立近代美術館、国立国際美術館、京都国立近代美術館に勤務した後、郷里に戻り、鳥取県立博物館館長、2025年に開館する鳥取県立美術館館長予定者。単著に『絵画論を超えて』（東信堂、1999年）等。主要企画展に「重力—戦後美術の座標軸」（国立国際美術館、1997年）、「痕跡—戦後美術における身体と思考」（京都国立近代美術館、2004年）、「日本におけるキュビズム」（鳥取県立博物館、2016年）等。



加藤瑞穂 Kato Mizuho

大阪大学大学院文学研究科（芸術学専攻）修士課程修了。博士（文学、大阪大学）。芦屋市立美術館学芸員（1993-2011年）を経て現在、大阪大学総合学術博物館招へい准教授。専門は近現代美術史。近著に『戦後大阪のアヴァンギャルド芸術—焼け跡から万博前夜まで』（共著、2013年）、『EXPO'70 大阪万博の記憶とアート』（共著、2021年、いずれも大阪大学出版会）等。主要企画展に *Atsuko Tanaka, The Art of Connecting*（国際交流基金主催、2011-2012年）等。



大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

〒560-0043 豊中市待兼山町1-20

tel. 06-6850-6284 (10:30～17:00、日・祝日休館)

<https://www.museum.osaka-u.ac.jp/>

※会場は大阪大学中之島センターです。